



第2回 現代人の語彙に関する調査

調査詳細データ②
読書/新聞学習/入試・進路

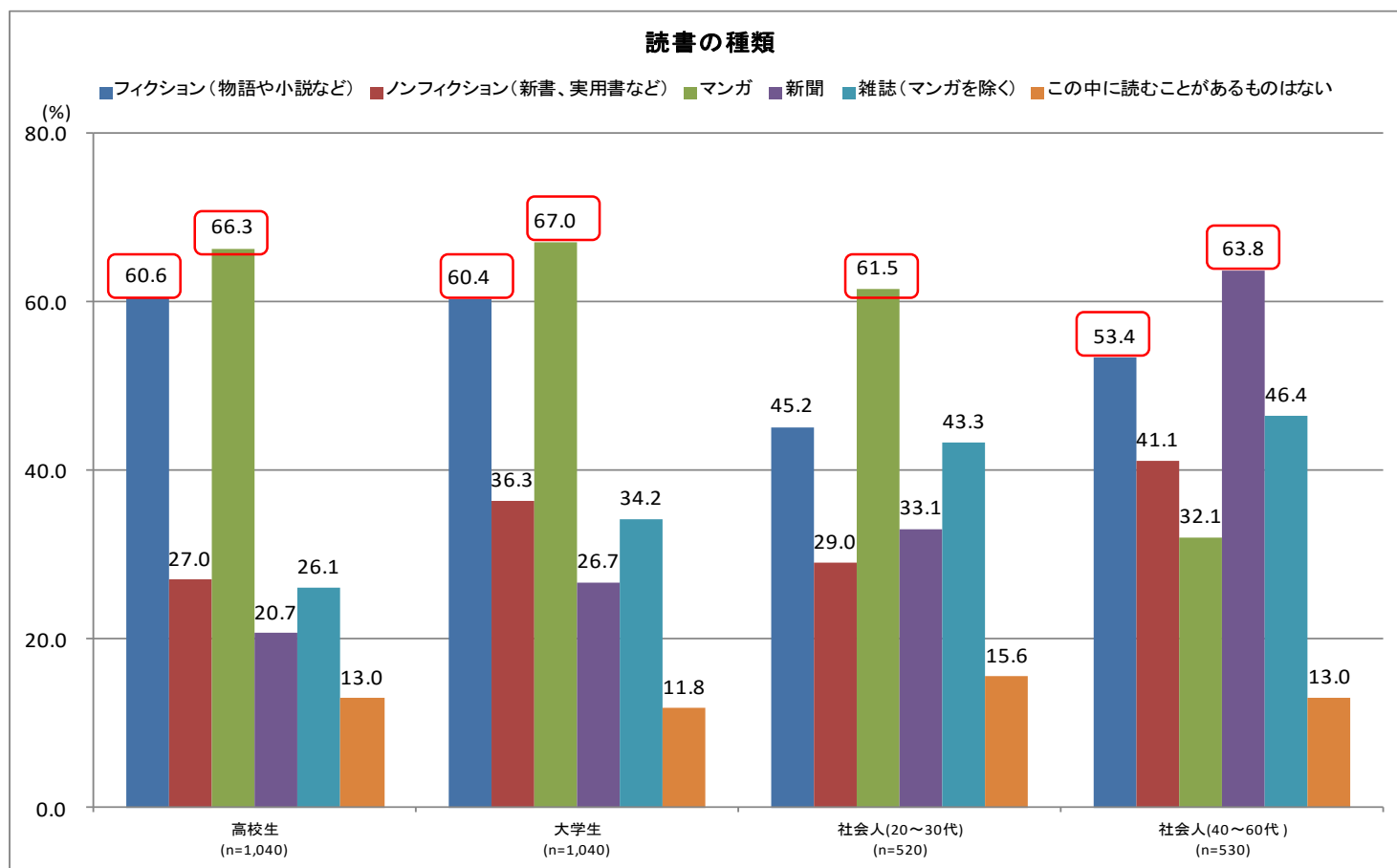
- 1. 読書の種類（世代別）(P3)
- 2-1. ノンフィクションの種類（世代別）(P4)
- 2-2. ノンフィクションの読書量（世代別）(P5)
- 2-3. ノンフィクションの種類と語彙力（世代別）(P6)
- 3-1. 新聞学習の経験（高校生・大学生）(P7)
- 3-2. 新聞学習の頻度（高校生・大学生）(P8)
- 3-3. 新聞学習の好嫌（高校生・大学生）(P9)
- 3-4. 新聞学習の経験×語彙力（高校生/通学校タイプ別）(P10)
- 4. 大学入試における語彙の重要性（大学生）(P11)
- 5. 進路決定時期（大学生）(P12)

※調査の概要等につきましては、「調査詳細データ①」をご確認ください。

1.読書の種類（世代別）

- 高校生・大学生・社会人(20～30代)は「マンガ」が、社会人(40～60代)は「新聞」がそれぞれ6割超と、各世代でもっとも読まれている。
- 高校生・大学生では「マンガ」に次いで「フィクション」がよく読まれている。高校生では、他の種類を読んでいる割合は3割にも満たないが、大学生は高校生よりも他の種類を読んでいる割合がやや高い。
- 社会人(20～30代)は「フィクション」も5割に満たず、全体的に読書している割合が低め。

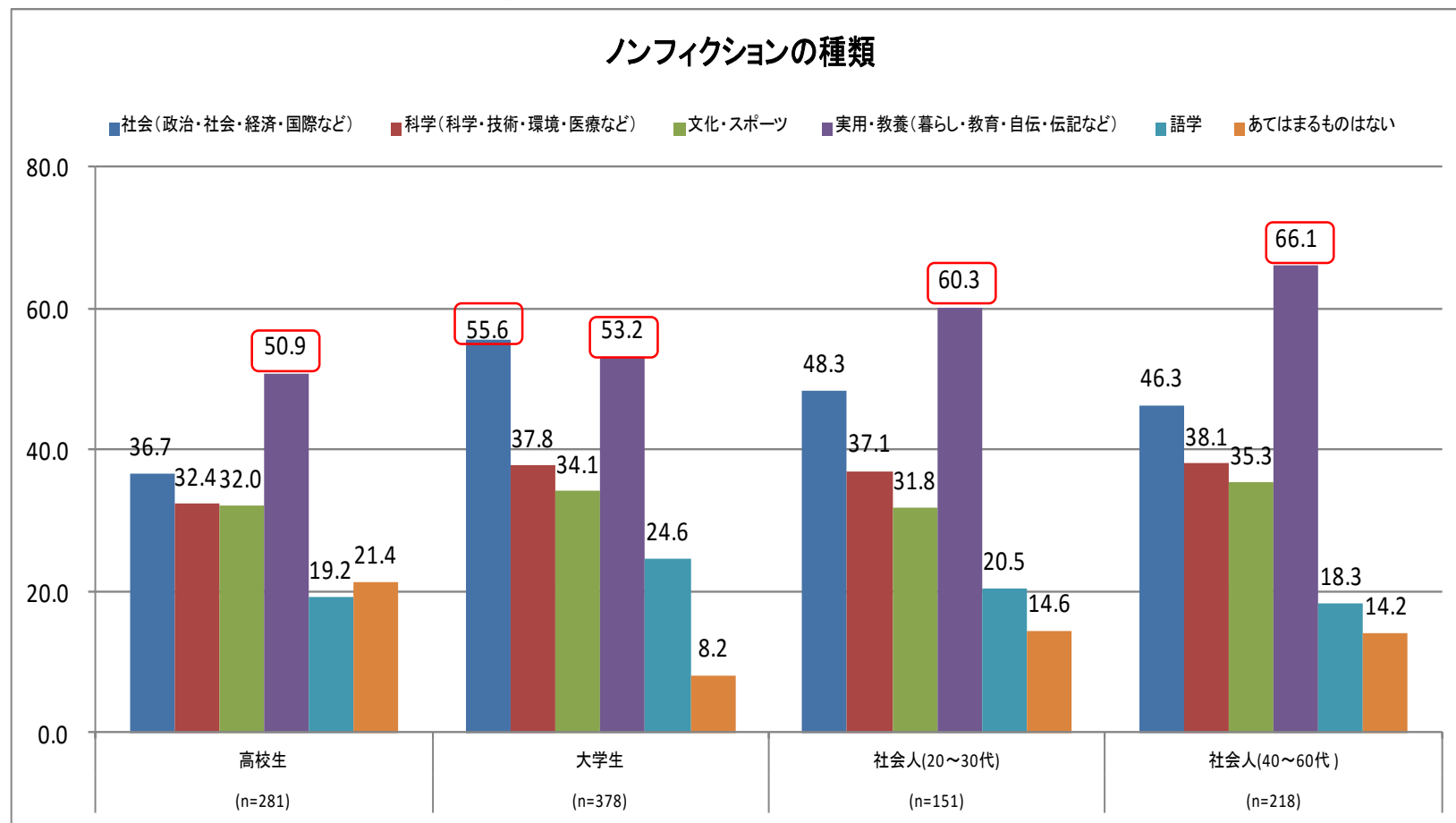
Q 次のような本や文章を読みますか。読むことがあるものをすべて選んでください。



2-1. ノンフィクションの種類（世代別）

- 「ノンフィクション」を読んでいる人を取り出して見てみると、すべての世代で半数以上が読んでいる分野は「実用・教養」で、特に社会人で読んでいる人の割合が高い。次いで「社会」が高いが、特に大学生では読んでいる人の割合が5割を超える。

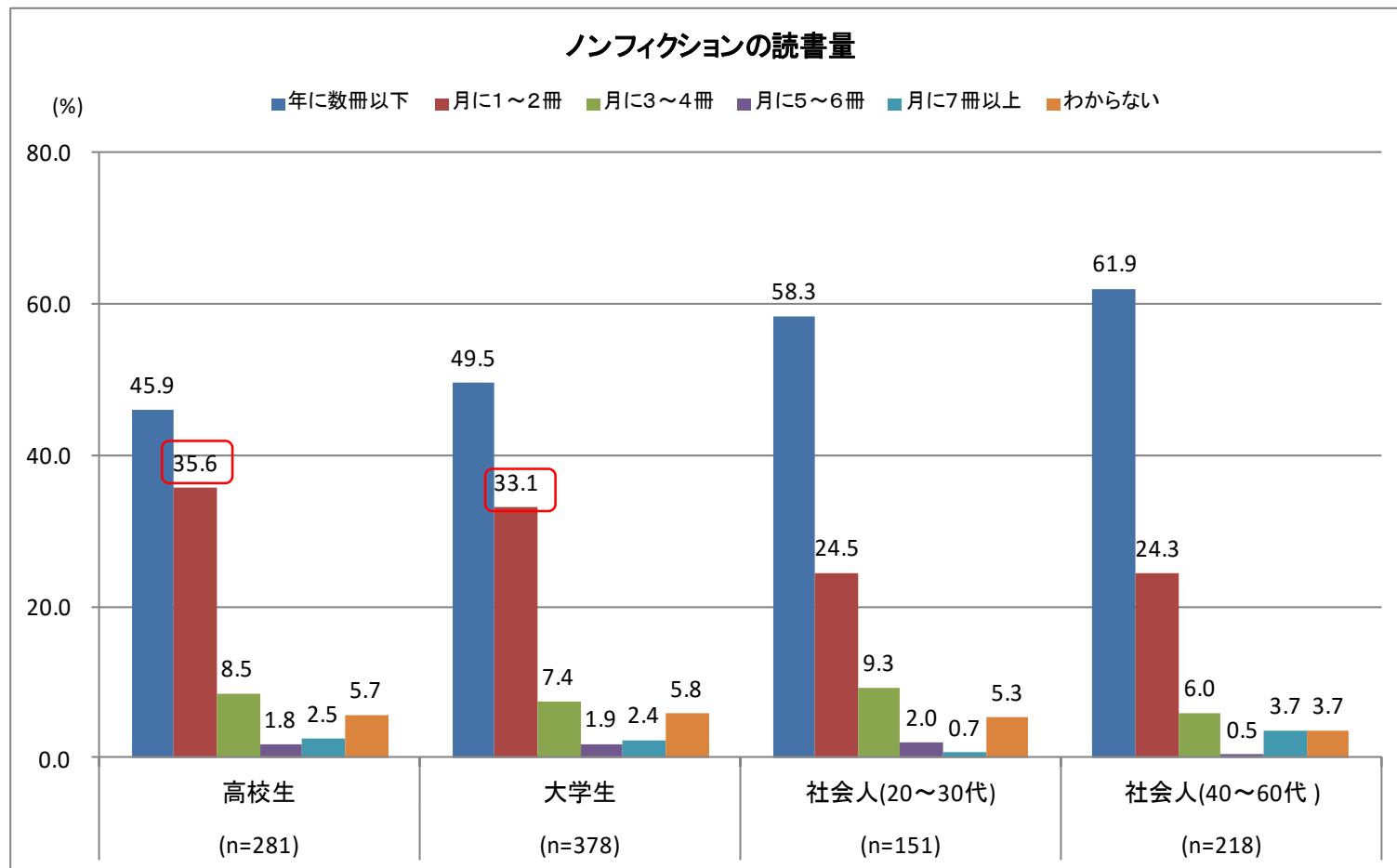
Q あなたはこの1年で次のようなテーマについてのノンフィクションの本を読んだことがありますか。
読んだことがあるものをすべて選んでください。



2-2.ノンフィクションの読書量（世代別）

- 「ノンフィクション」を読んでいる人を取り出して見てみると、どの世代でも「年に数冊以下」がもっとも多く、高校生・大学生では5割弱、社会人では6割前後。「月に1～2冊」読んでいる人の割合は高校生・大学生で3割超、社会人では約1/4だった。「ノンフィクション」を読んでいる人の割合は、社会人(40～60代)よりも高校生・大学生のほうが少ないが、読んでいる人の読書量は若い世代がやや多いようだ。

Q あなたはノンフィクションの本をどのくらい読みますか。当てはまるものを選んでください。



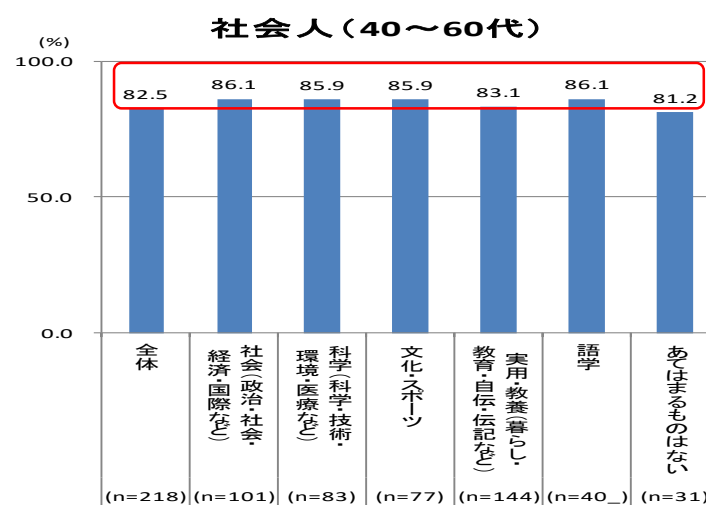
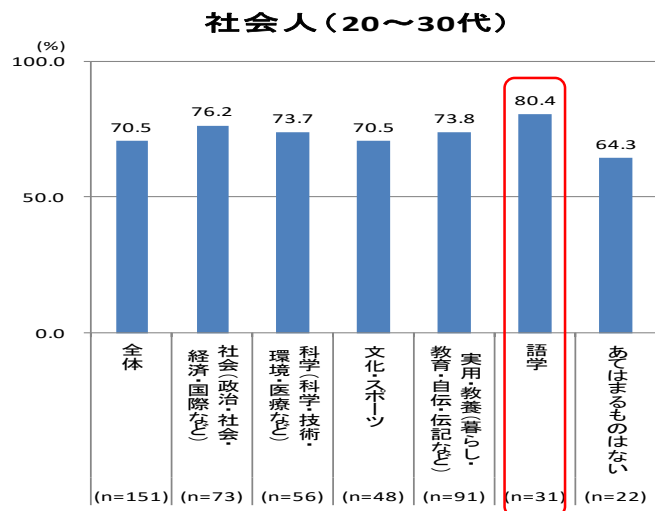
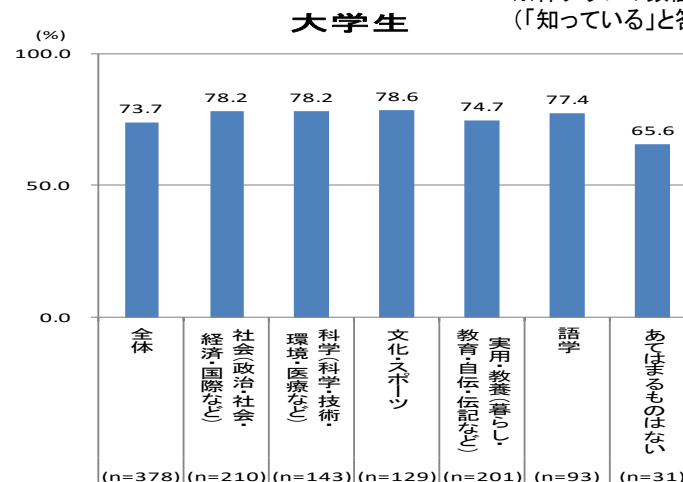
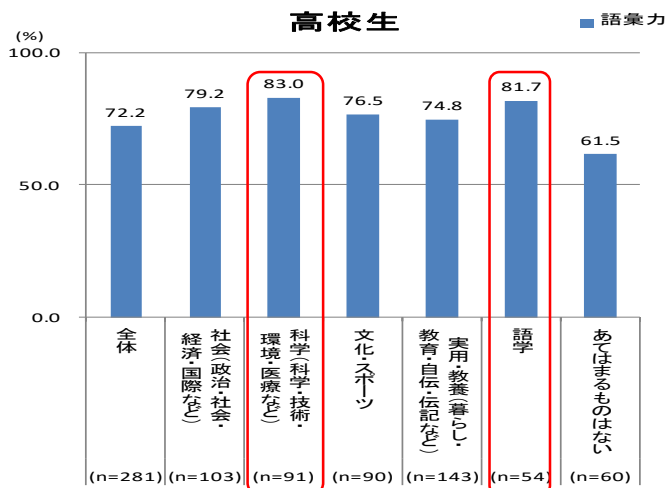
2-3. ノンフィクションの種類と語彙力（世代別）

6

- ノンフィクションを読んでいる人について、各分野を読んでいる人の語彙力平均を世代別に比べてみたところ、社会人(40～60代)の語彙力が、すべての分野でもっとも高い。
- その他の世代では、「科学」では高校生が、「語学」では高校生・社会人(20～30代)が高い。

Q あなたはこの1年で次のようなテーマについてのノンフィクションの本を読んだことがありますか。
読んだことがあるものをすべて選んでください。

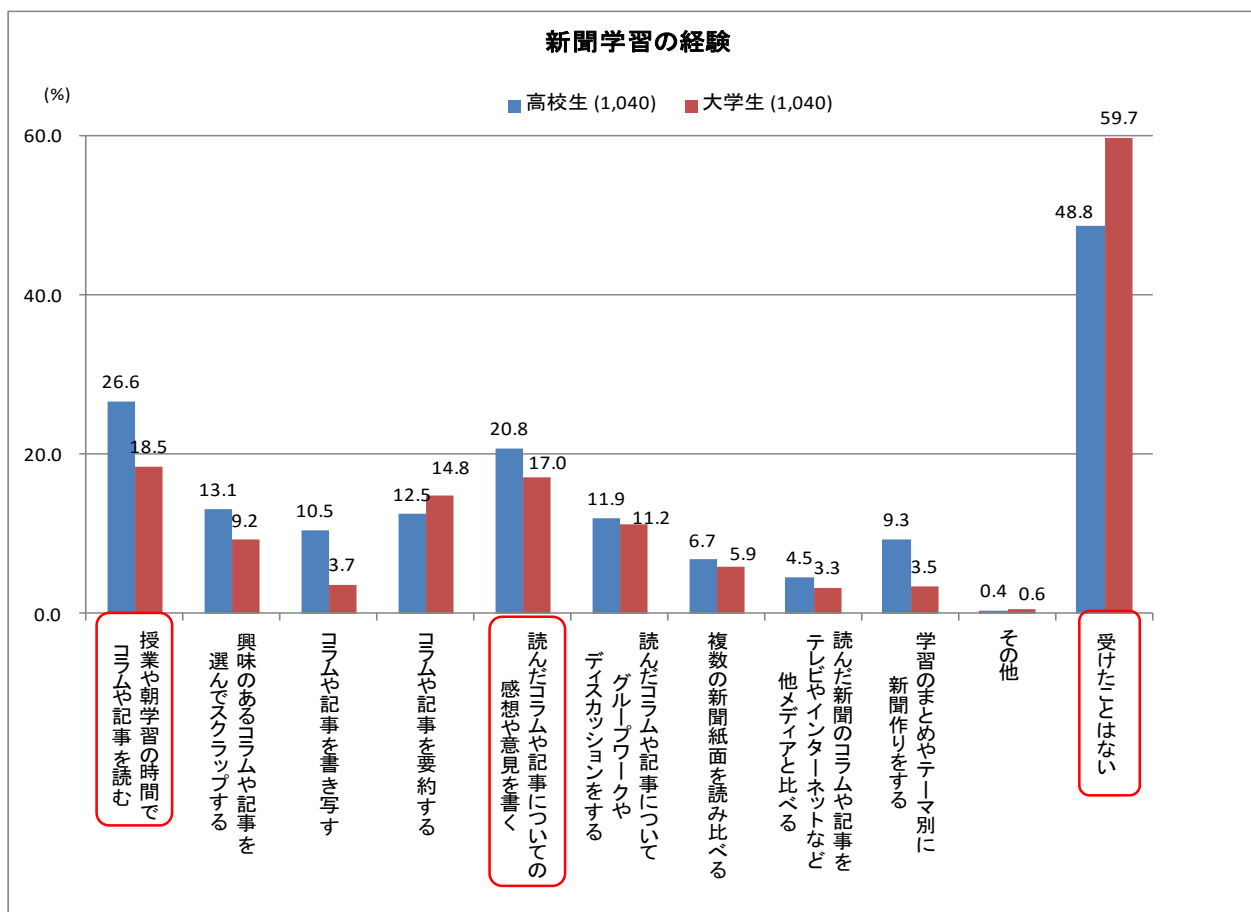
※棒グラフの数値は平均語彙力
（「知っている」と答えた語の割合）。



3-1.新聞学習の経験（高校生・大学生）

- 高校生で新聞学習の経験がある生徒は約半数、大学生では約4割。
- 高校生・大学生ともに「授業や朝学習の時間でコラムや記事を読む」活動をしている割合がもっとも高く、「読んだコラムや記事についての感想や意見を書く」が続く。
- その他では、「コラムや記事を要約する」を除くと、高校生のほうが様々な活動を経験している割合が高い。

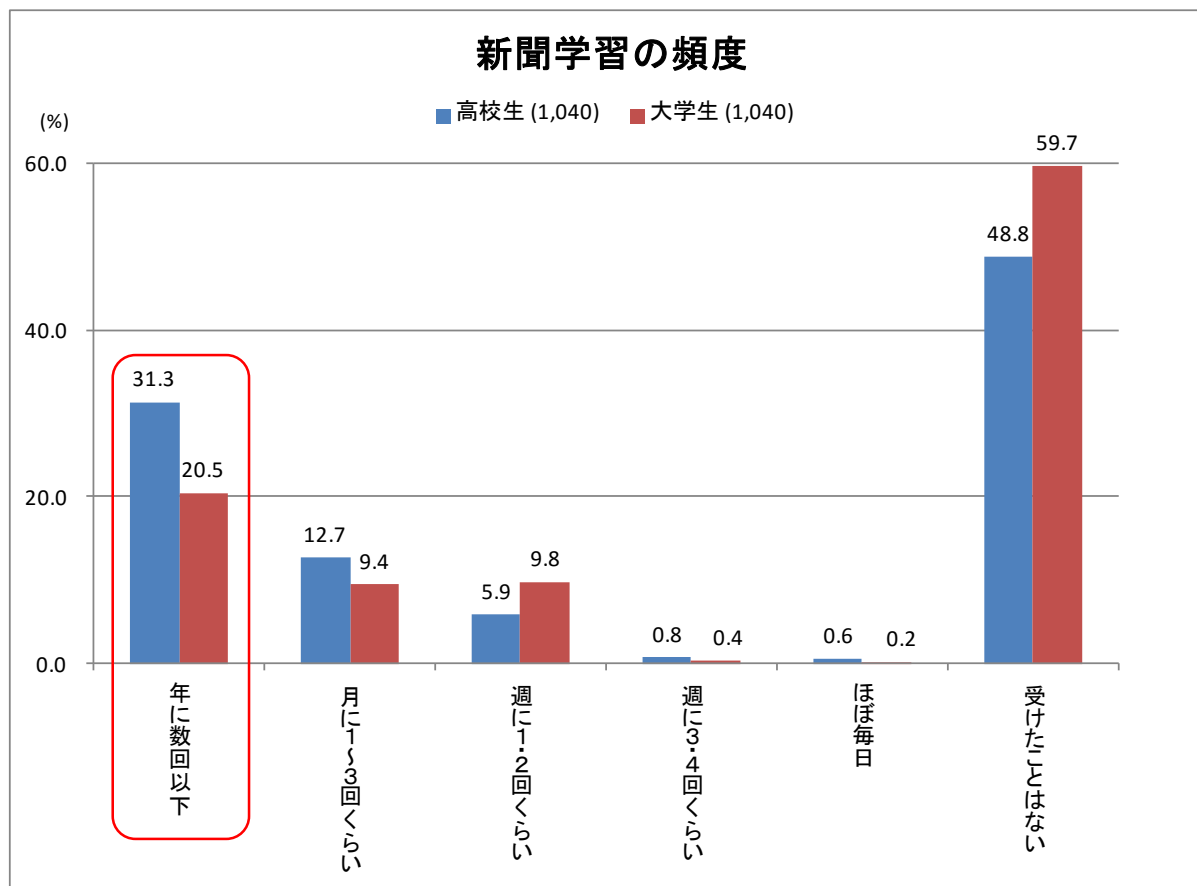
Q あなたが現在通っている学校で、次のような新聞を使った授業を受けたことがありますか。
当てはまるものをすべて選んでください。1～10のいずれも受けたことがない場合は『受けたことはない』を選んでください。



3-2.新聞学習の頻度（高校生・大学生）

■新聞学習の実施頻度は、高校生全体の約3割、大学生全体の約2割が「年に数回以下」。「月に1～3回くらい」以上経験している割合は、高校生・大学生ともに約2割。

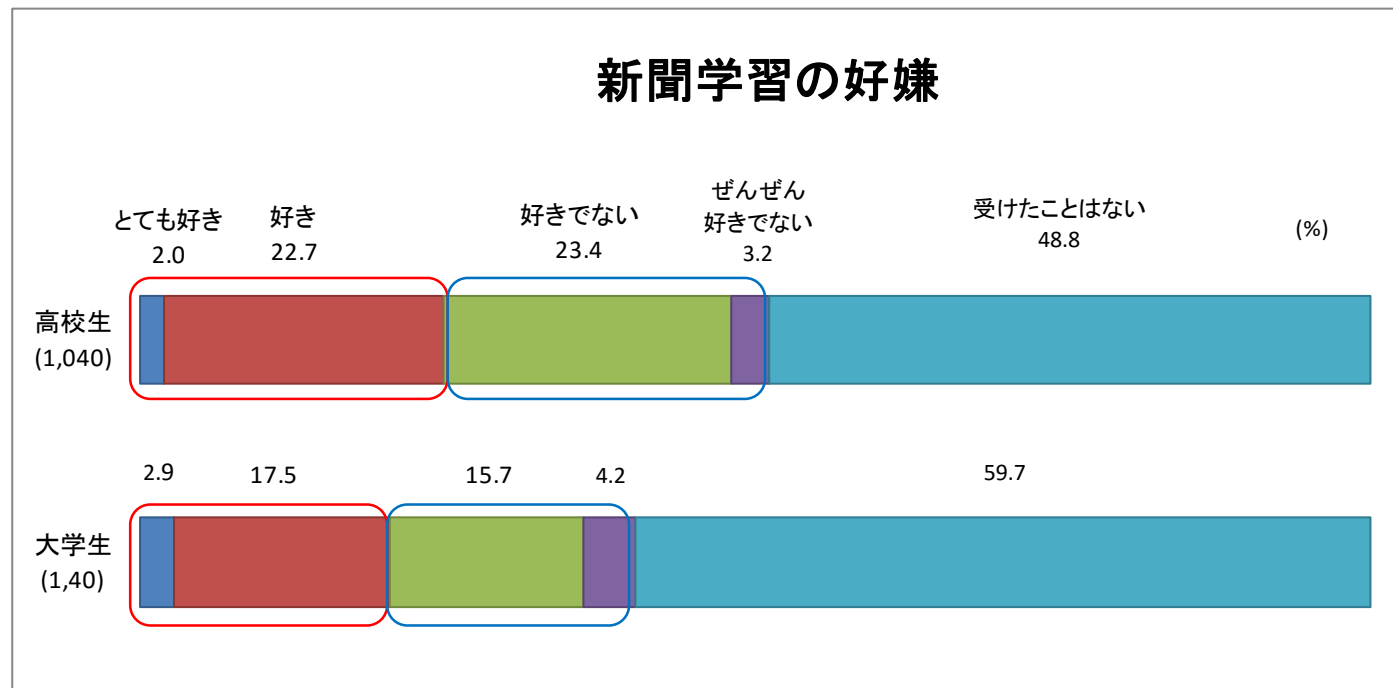
Q あなたが現在通っている学校で、新聞を使った授業を、もっとも多かった時期ではどのくらい受けていましたか。



3-3.新聞学習の好嫌（高校生・大学生）

- 「とても好き」「好き」が高校生では24.7 %、大学生では20.4 %、「好きでない」「ぜんぜん好きでない」が高校生では26.6%、大学生では19.9%と、それぞれの世代で「好き」と「嫌い」の割合が拮抗している。

Q あなたは新聞を使った授業がどのくらい好きですか。



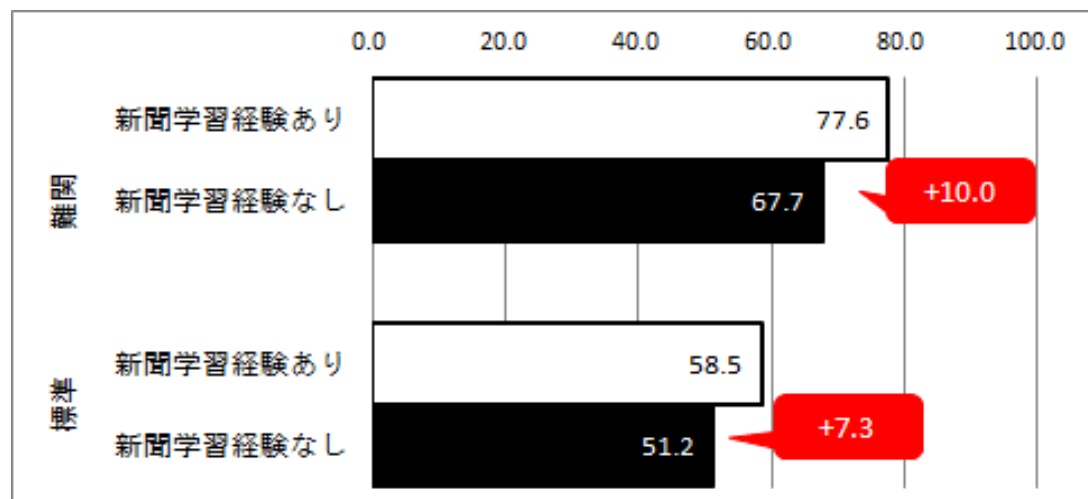
※「難関」「標準」は現在通っている学校について、回答者に選択してもらった結果による。

※質問文に対して「受けたことはない」と回答した場合は「経験なし」、「月に1回より少ない」「月に1～3回くらい」「週に1～2回くらい」「週に3～4回くらい」「ほぼ毎日」を「経験あり」とした。

※数値は、小数点以下2桁目を四捨五入して計算している。

- 高校生について、通学校タイプ（難関・標準）別に新聞学習の経験の有無と語彙力との関連性を見たところ、いずれの通学校タイプでも「新聞学習経験あり」が「新聞学習経験なし」を上回った。

Q あなたが現在通っている学校で、次のような新聞を使った授業を受けたことがありますか。
当てはまるものをすべて選んでください。1～10 のいずれも受けたことがない場合は『受けたことはない』を選んでください。



※棒グラフの数値は平均語彙力（「知っている」と答えた語の割合）。

※「難関」「標準」は現在通っている学校について、回答者に選択してもらった結果による。

※質問文に対して「受けたことはない」と回答した場合は「経験なし」、「月に1回より少ない」「月に1～3回くらい」「週に1～2回くらい」「週に3～4回くらい」「ほぼ毎日」を「経験あり」とした。

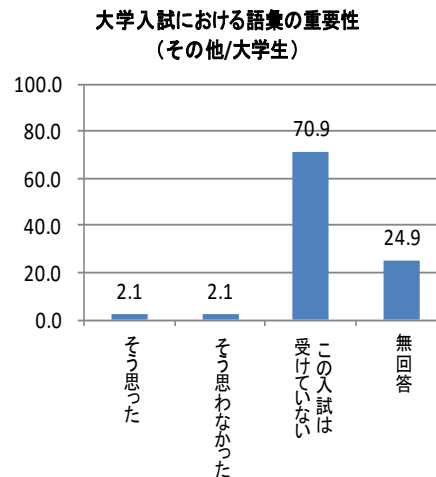
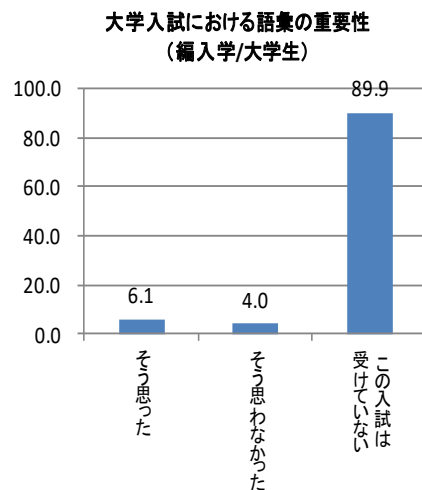
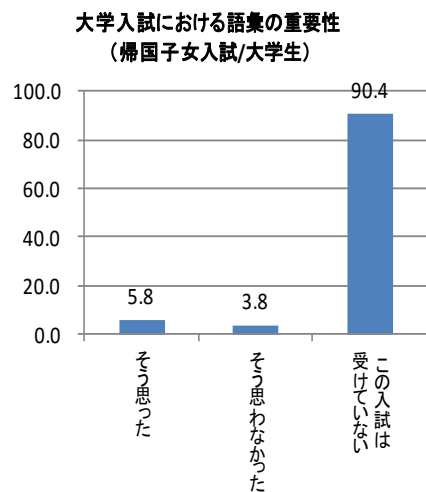
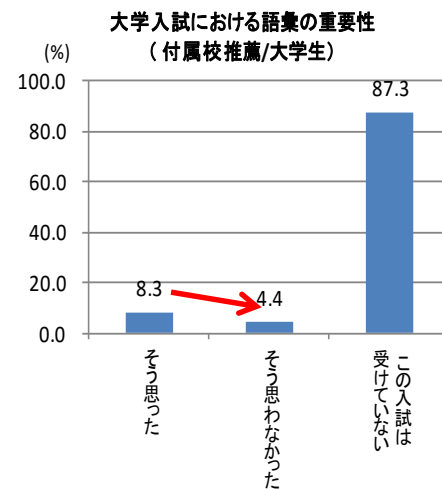
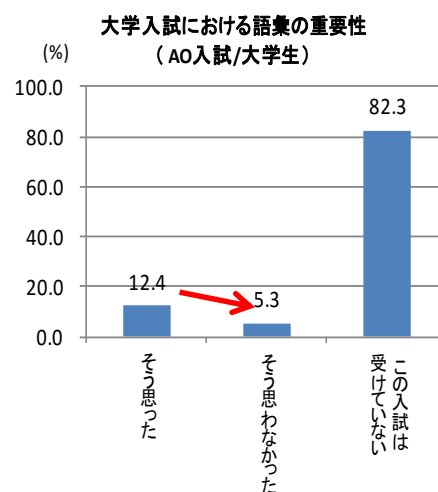
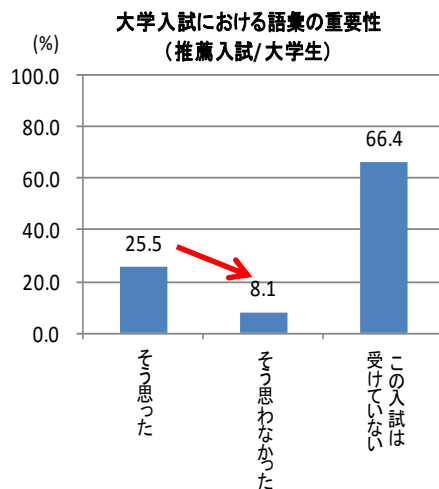
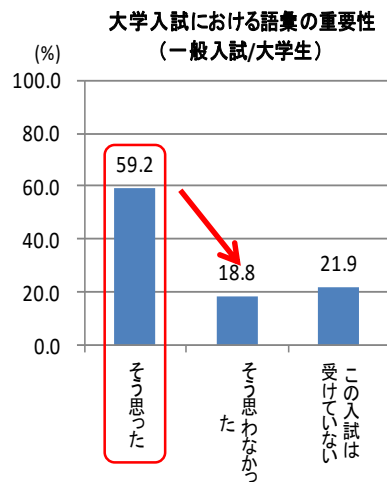
※数値は、小数点以下2桁目を四捨五入して計算している。

4.大学入試における語彙の重要性（大学生）

11

- 大学生に、大学入試で「語彙は重要だと思ったか」とたずねたところ、多くの学生が経験している「一般入試」では約6割の学生が「そう思った」と回答している。
- 「推薦入試」「AO入試」「付属校推薦」でも、経験している人では「そう思った」と回答した割合が「そう思わなかった」と回答した割合の2～3倍と、大学入試における語彙力の重要性を実感している割合が高い。

Q 大学受験の際に、語彙力は重要だと思いましたか。



※質問文に対して「とてもそう思った」「まあそう思った」を「そう思った」、「あまりそう思わなかった」「まったくそう思わなかった」を「そう思わなかった」とした。
※数値は、小数点以下2桁目を四捨五入して計算している。

- 大学生に進路決定時期についてたずねたところ、「高校3年生の夏ごろまで」「高校3年生の秋以降」など、高校3年生になってからの割合が約7割だった。
- これに対して、進路決定時期別に回答者の語彙力平均を見てみると、「高校1年生」で進路決定した回答者は70.6%と、「高校3年生の夏頃まで」「高校3年生の夏以降」よりも5ポイント以上高かった。

Q 進路（学部・学科）の検討を始めた時期、決定した時期について、あてはまるものを選んでください。

